

五分館だより

第56号

豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
発行責任者 堀本明一
印刷 燦プランニング
(堀本明一)

堀越の今日

平成18年8月現在
戸数 86戸
人口 355人
(男167・女188)

熊捕獲される!!



飯伊地域で熊の目撃情報が増えているそうです。堀越でも七月終わり頃から南平、上垣外、堂平等のリンゴ等の木に爪痕が見受けられるようになり、果樹が被害にあっています。そんな折り、堂平の松村雄一さんが八月二十九日に一頭のオスを捕獲しました。家の近くに仕掛けたおりの中に入っているところをしとめたもので、体長一六〇センチ、体重一〇〇キロほどの大きなものです。そこで、地方事務所環境森林チームに熊について注意することを聞いてみました。



基本的には、熊を人家や畑に寄せ付けない環境をつくるのが重要とのことでした。熊は地面に落ちた果樹をよく食べるので、廃果は放置しないで早く回収する。庭先に生ゴミを埋めない。生ゴミはコンポスト等で処理する。果樹園には、収穫期に電気の柵を張るとよい。畑につながる山の藪を伐採し、熊が近づかない環境にする。

山へ入る場合は鈴等を付けて。沢は、音が消されてしまうので、そういう場所へ行く時は特に注意する。不幸にして出会ってしまったら、騒がず背中を見せず後ずさりして離れる。いずれにしても、熊と出

会わない事が大事で、そのためには、熊に人の気配を事前に知らせ、急な出会いを避ける必要があります。そして熊を呼び寄せない環境をつくるのが大切のことです。

—社会部—

無邪気な笑顔が見えた納涼祭

見えた納涼祭

八月十三日、堀越区民会館において納涼祭が行われました。午後二時より始めた準備も順調に進み、心配された夕立も納涼祭に遠慮してか何事も無く、始まりの六時半を迎えました。

例年であれば八月の始め頃に行われますが、今年は長野県知事選挙が行われたこともあり、お盆休みのこの時期と重なることとなりました。又、この日はちょうど高校野球の長野県代表高校と、沖縄代表八重山商工の試合時間が重なっており、例年のような出足ではありませんでした。しかし徐々に皆さん来られ、子供たちが金魚すくいに夢中になって『やったー』と歓声を上げ、その横で親やおじいちゃんおばあちゃん、が子供と同じように無邪気な笑顔を見せてくれたり、又ストラックアウトではこどもと親、友達同士で抜いた枚数の記録

社会部 林 寿彦



こんにちは、中宮の田島梨花です。ここに来る前、松川のアパートに三人で住んでいましたが、今年六月から、堀越へ引っ越してきました。

私の実家も、堀越に似ていて山の中だったので、心が安らぐ気持ちで、のんびりと生活しています。子供(裕香一才九ヶ月)にとっても、自分にとっても、よい環境にすめる事は、一番幸せなことだと思っています。で、とても嬉しいです。

この人紹介

田島梨花さん
(昭弘さん)
(中宮)

皆さんに顔と名前を覚えてもらいたいと思います。これからも、家族共々末長くよろしくお願い致します。





部落対抗球技大会

7月16日と7月30日の両日に部落対抗球技大会が行われました。マレットゴルフ大会には前年より3チーム多い18チーム、ソフトバレーには1チーム多く参加し、それぞれ熱戦が繰り広げられました。



七月十六日に球技大会マレットゴルフが行なわれました。今回で二回目となりましたが前大会より多くのチーム数となり大変大会自体が区民の皆様に受け入れられてきたのかなと嬉しく思いました。結果駒沢の優勝と一人のホームインワン賞となりましたが大変楽しくプレーできたと感じました。私自身役員として大会に参加しましたが是非選手として参加してみたいと思いました。



また、七月三十日に、ソフトボール、ソフトバレーの球技大会が行なわれました。今回、新しい賞も導入され、また、ソフトボールソフトバレー共に、近年にない白熱した試合でした。ソフトボールは、胡芝部落ソフトバレーは中宮となりましたが、部落の方々が休日にとつた事に夢中になれる、大変すばらしいことだと思ふし、スポーツでするので当然勝ち負けがつくのですが、それよりも、チームがまとまって、ひとつの事に夢中になれる。終わつた後にたのしかったなあ、くやしかったなあと思えばいいのではと感じました。



時の流れで多少の変化はあると思いますが、球技大会が続けられるといいですね。最後に来年も堀越がんばらまいか。

体育部部长 宮下直也



優勝した中宮チーム

黒谷箋

今年は、七月に大雨が降り、特に諏訪・上伊那地域は大きな被害に遭いました。長野県は、この災害に対し被災地へ職員を派遣し災害現場の片付け等の支援活動を行いました。

私も、七月二十七日に、岡谷市川岸地区の災害現場へ「災害家屋かたづけ隊」の一員として参加しました。

現地は集落のすぐ裏に山が迫り、堀越とそう変わらない地形の様に見えました。しかし、そこで見た景色はまったくひどいものでした。川が氾濫し、泥が道や田畑を埋め、家屋の床下に流れ込んでいました。

私たちは、災害にあった家屋の床を剥いで、バケツリレーで泥を外へ運び出しました。作業は予想以上に大変で、二十人が一日で居間と押し入れの泥を運び出すのがやっとでした。

それ程大きくない川が、これほどの土を運ぶと思うと、改めて自然の力の大きさと怖さを感じます。

災害はいつやってくるとも限りません。それに対する備えと、災害が起きないことを祈らずにはいられません。

駒沢部落 久保田和博

村政懇談会のお知らせ

とき／10月30日(月)

場所／堀越区民会館

毎年1月に行なわれていました村政懇談会が本年は10月に行なわれます。都合をつけて出席をして下さい。詳細は、村より回覧があります。

この人紹介

小椋京子さん
(健さん)
(東)

まず始めに、少し自己紹介をさせて頂きます。私は、飯田市山本で育ちました。実家は専業農家で主に肉牛を育てており、父は削蹄師で、牛の爪を切る仕事をしています。主人とは、趣味の剣道を通じて知り合いました。剣道は、小学生の頃より始め山本では指導者として子ども達と一緒に稽古しており現在は、豊丘剣道クラブに所属しています。少し若い頃には、(今も若い!)地区

の大会や全国につながる大会に挑戦してきました。現在は、お陰様で二人の子どもに恵まれ、稽古は少しの間、休んでいますが、今後も、昇段や家庭婦人の大会に挑戦し、もう一度全国の舞台に立ちたいなああと、

夢のような目標を持っています。又、子ども達が少し大きくなったら、家族で剣道を楽しめたら嬉しいですね。こちらに越して来てまだ一年数ヶ月ですのでもまだだ地域の事はよく分かりません。多くの方々とお会い、関わりながらこの地域になじみ、この豊かな自然の中で子育てできる事の幸せを感じながら楽しく暮らしていきたいと思います。いろいろお世話になります、よろしくお願ひ致します。